

新たな道路行政運営システムの見直しに向けて（計画から負担まで）

	論点	想定される対応案
○道路行政の使命、目標、方向性、仕事の進め方等の見直し	○無駄なものを非効率につくっているのではないか ○事業費や事業量を確保することが目的となっているのではないか ○もっと安くかつ早く整備できないのか ○地域のニーズに比して構造規格が過大ではないか ○新規改良投資と既存道路の改良投資のバランスが悪いのではないか ○もっと透明性を確保し、オープンに進めるべきではないか	○道路行政に評価システムをビルトイン ○コスト縮減、構造規格の見直し（ローカルルール） ○整備スピードアップ（目標年次の明確化と重点投資） ○情報公開、アカウンタビリティの徹底
○公と個（個人、企業、NPO等）が企画・立案、管理・利用に参画するシステムの見直し	○利用者ニーズを適切に把握し、反映させているのか ○地域住民等の意見を計画の早い段階から取り入れるべきではないか ○多様性の下での自由な個の潜在力を引き出し、社会の構築に貢献することが必要ではないか	○道路計画の構想段階からの市民参加スキーム ○道路の管理・運営・利用に民間・個人が参画する仕組みの構築 ○沿道のまちづくりや景観形成と連携する仕組みの構築
○道路と地域の関係の見直し ----- （道路の空間論）	○自立した地域の暮らしを支えるために必要な道路密度の水準は達成されているのか ○沿道のまちづくりや地域づくりの要請に対応できているのか ○道路空間が広域利用者、地域利用者、沿道利用者に適切に配分されているのか	○ブロック圏域構想の確立 ○道路構造令の見直し
○国と地方の関係の見直し	○国の政策決定に地方の意見を適切に反映させるべきではないか ○補助金で地方をコントロールしているのではないか ○構造基準や採択基準が全国画一で、地域性、地方の自主性を損ねているのではないか ○地方に財源を委譲すべきではないか	○自立した圏域形成のためのネットワーク整備への支援の重点化 ○地域の実情に応じた整備（ローカルルール）の支援
○有料道路制度・料金制度の見直し	○早期整備のための償還主義だけによらない料金政策を検討すべきではないか。例えば、 ・社会資本である道路をより有効活用するための料金 ・利用者の受けたサービス等利用者が納得できる料金を検討すべきではないか ○有料道路の料金は高すぎるのではないか。本来道路は無料ではないか ○有料道路と無料道路の区分の明確化が必要ではないか ○本四道路やアクアラインなど採算性の低い事業の債務の負担はどうするのか	○有料道路事業の限定的運用 ○多様で弾力的な料金制度 ○交通の転換が思わしくない有料道路の利用促進策 ○新たな高速道路整備方式の導入、P F Iの試行等新たな整備手法 ○採算性の低い既存有料道路事業の処理策
○受益と負担のあり方（税制等）の見直し	○いつまで「緊急措置」といって特定財源を確保し、暫定税率を課すつもりなのか ○特定財源があるから道路をつくり続けているのではないか ○道路整備に使わないならば税率を下げるべきではないか ○特定財源を道路以外の整備にも活用すべきではないか ○大型車と乗用車の負担がアンバランスではないか	○特定財源制度の見直し
○道路行政と他の関係機関との連携の見直し	○公共交通との役割分担を考えた道路計画とし一体的に整備すべきではないか ○道路整備によらず、既存の道路ストックの利用効率を高めるシステムを強化することにより渋滞解消を図るべきではないか ○（道路法上の）道路と農道、林道、臨港道路などが近接、重複しているのは無駄ではないか	○公共交通を重視した総合的交通システムの構築 ○公安委員会との連携強化による駐車対策等交通マネジメントの重視 ○総合調整機能の強化・充実